

季刊紙

医療法人社団 岡田会

理念

正義・友愛・奉仕

基本方針

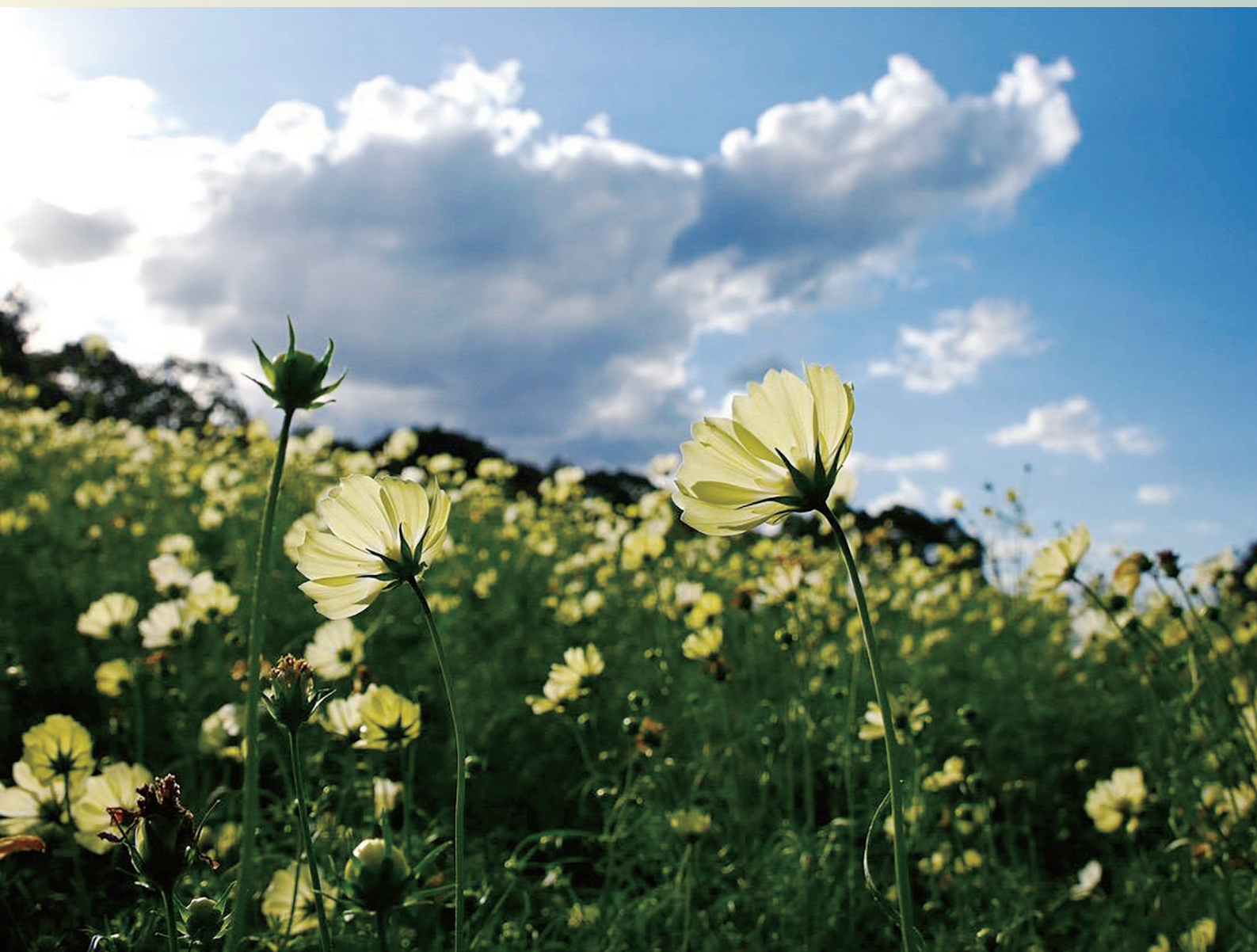
医療にヒューマニズムを

やまのべ

(題字)

奈良県指定無形文化財

無監査 刀匠 月山 貞利



陥入爪について／第20回国際リハビリテーション医学会学術集会 in パンクーパーで発表してきました。…………… 01

風邪（普通感冒）について…………… 02

祝30周年!! Yamanobe Spring Festival 2026を開催しました／やまのべ健康川柳…………… 03

リハビリ機器が新しく加わりました！／地域貢献セミナー「ランチョンセミナー」を開催しました…………… 04

まきむくセミナー開催／ナラ・シェイクアウト／まきむく草庵アレコレ…………… 05

連載：地域の光と風

芳徳寺…………… 06

耳鼻咽喉科のご案内／編集後記…………… 07

送迎車時刻表／外来診察一覧表…………… 07

発行 医療法人社団 岡田会

〒633-0081

奈良県桜井市草川61番地の1

TEL 0744-45-1199

FAX 0744-42-1320

e-mail office@yamanobe.or.jp

<https://www.yamanobe.or.jp>

責任者
編集委員会



Ⅱ 陥入爪について

皮膚科外来を担当しています樋口です。今回は陥入爪についてお話したいと思います。

陥入爪（かんにゅうそう）とは爪の端（主に足の親指のつめ）が周囲の皮膚に食い込んで炎症や痛みを引き起こす状態を指します。一般的には“巻き爪”と混合されがちですが、巻き爪は爪が内側に丸く変形する状態であり、必ずしも皮膚に食い込んでいるとは限りません。巻き爪が陥入爪を起こす原因となる場合、あるいはその逆もあります。

主な原因として多いのは、間違った爪切りです。爪の角を丸く深く切りすぎると、再び伸びる際に皮膚へ入り込みやすくなります。また、サイズの合わない靴や圧迫の強い靴下などの着用による圧迫、スポーツによる反復的な刺激、外傷なども発症要因となります。さらに巻き爪といった爪の変形、扁平足や外反母趾などの足変形、それから爪白癬(爪の水虫)が原因となることもあるので、水虫のチェックも必要になることがあります。

症状は進行度によって異なります。初期では爪の端に軽い痛みや違和感、赤みが見られる程度ですが、進行すると腫れや強い痛みが生じ、歩行にも支障をきたします。さらに悪化すると細菌感染を伴い、膿が出たり、肉芽と呼ばれる赤く盛り上がった組織が形成されることもあります。この段階になると自然治癒は難しく、医療的な処置が必要になります。

治療方法は症状の程度によって異なります。軽症の場合は正しい爪の切り方に改善し、患部を清潔に保つことで回復することがあります。また、コットンパッキング¹といって、爪と皮膚の間に小さな綿を挟み、食い込みを防ぐ方法やテーピング法なども有効です。中等度以上では皮膚科や形成外科での治療が推奨され、ワイヤーやプレートを用いて爪の変形を矯正する治療が行われます。重症例では局所麻酔下で爪の一部を切除する手術（部分抜爪）が必要になることもあります。根治手術としては陥入している爪の端と爪母（爪を作り出す組織）を除去することによって、変形や食い込み部をなくす方法などもあります。

予防のためには、まず正しい爪切りが重要です。爪は深く切りすぎず、指先と同じくらいの長さを保ち、角を丸めないようにします。また、自分の足に合った靴を選び、つま先に十分な余裕があるものを履くことも大切です。さらに足を清潔に保ち、異常を早期に発見する習慣を付けることが重症化の防止につながります。痛みや腫れが続く場合は早めに医療機関を受診することが重要です。

風邪（普通感冒）について

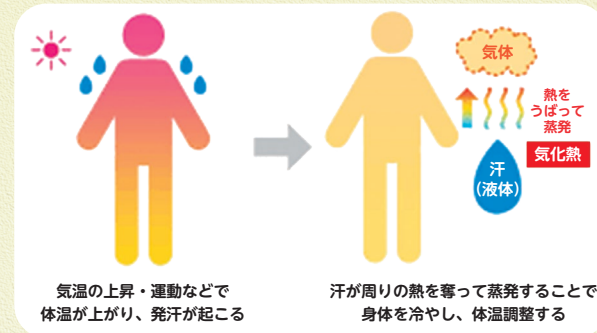


「風邪（普通感冒）」は、インフルエンザやコロナウイルスとは異なる原因で発症し、一年中いつでも注意が必要な呼吸器感染症です。初期症状の段階で正しい対策をとることで、こじらせずに早期回復が期待できます。

風邪の原因とインフル・コロナとの違い

風邪は、主にライノウイルスやコロナウイルス（一般の風邪を引き起こすタイプ）など、200 種類以上のウイルスが喉や鼻に感染して炎症を引き起こします。

- ・ **インフルエンザ・コロナとの違い**：インフルエンザは突然の高熱、頭痛、全身の関節痛が特徴で、重症化しやすい。一方、風邪は鼻水、鼻づまり、喉の痛み、咳などが中心で、熱は出ても微熱～軽度なことが多いです。
- ・ **気化熱の影響**：風邪や疲労時に汗をかき、その汗が蒸発する際の「気化熱」で体温が奪われると、免疫力が低下し、症状がさらに悪化することがあります。冷たい汗は冷えを助長します。



一年中風邪をひく理由

風邪は「冬の病気」と思われがちですが、夏には「夏風邪（エンテロウイルス等）」が流行します。冷房による冷えや乾燥、湿度変化による自律神経の乱れ、寒暖差が免疫力を低下させ、一年を通じて風邪を引きやすい環境を作っています。

風邪の「ひきはじめ」の対策

「喉がイガイガする」「寒気がする」といった初期症状の時に、以下の対策を徹底することが最重要です。

1. **睡眠と休息**：何よりも身体を休めることが、ウイルスと戦う免疫を高めます。
2. **体を温める**：特に首、手首、足首を冷やさないようにし、温かいものを飲みます。
3. **保湿と保湿（喉）**：部屋の湿度を適度に保ち、喉の粘膜を乾燥から守ります。うがいやトローチも有効です。
4. **栄養補給**：消化のよい食事を摂り、免疫力をサポートします。

風邪の治療

風邪には特効薬がありません。治療は、症状を緩和する「対症療法」が基本です。

- ・**薬物療法**：鼻水には鼻炎薬、喉の痛みには消炎剤、熱には解熱鎮痛薬を使用します。
- ・**受診の目安**：症状が長引く（1週間以上）、高熱が続く、息苦しい、胸の痛みがある場合は、インフルエンザやコロナ、細菌性の二次感染を疑い、早めに受診が必要です。

風邪はひきはじめの「安静」と「保温」で、多くの場合は数日で回復します。日頃から手洗い・うがいを習慣づけ、免疫力を維持していきましょう。



ラーメンや味噌汁で咳が出る主な仕組みは、湯気による気道の刺激（咳喘息など）、熱さや塩分・**油分による咽頭の反射**、および**水分の誤嚥（むせ）**です。

主な原因とメカニズム

湯気や温度差（気道過敏性）熱いラーメンや味噌汁から立ち上る湯気（水蒸気や香辛料の成分）を吸い込むと、空気の通り道である気管支が刺激されます。気道が過敏になっている状態（咳喘息など）では、わずかな温度や湿度の変化でも反射的に咳が出ます。刺激物や熱さによる反射スプの熱さや、味噌汁・ラーメンに含まれる塩分・コショウなどのスパイスが喉の粘膜を直接刺激します。異物や刺激から体を守ろうとする防御反応として、咳の指令が脳から出てむせこみます。

飲み込む力の低下（誤嚥・むせ）

汁物はサラッとしているため、喉を通り過ぎるスピードが速く、気管に入り込みやすい特徴があります。喉の筋肉がうまく働かないと、肺へ入らないようにフタをする機能が遅れ、反射的に咳で押し出そうとします。

咳が出る時は、□の中の乾燥を防ぎ、気道への刺激を減らすことが最も重要です。□の中の乾燥や刺激が原因で咳き込む場合、**以下の方法**をすぐに試してください。

- ・ **口の中と喉を潤す対策**：温かい飲み物を少しずつ飲む。
- ・ **はちみつを舐める**：喉の粘膜を保護します。
- ・ **のど飴やトローチをなめる**：唾液を出して乾燥を防ぎます。
- ・ **こまめにうがいをする**：異物を洗い流し保湿します。
- ・ **歯磨きをする**：口内の雑菌を減らすと咳予防になります。
- ・ **呼吸と姿勢の工夫鼻呼吸を意識する**：口呼吸は喉を乾燥させます。
- ・ **マスクをつける**：吸う空気を加湿できます。
- ・ **上半身を少し高くして横向きに寝る**：呼吸が楽になります。



第20回国際リハビリテーション医学会学術集会 in バンクーバーで発表してきました。

山の辺病院 リハビリテーション部 理学療法士 松岡 由佳

今回発表した内容は、山の辺病院で大腿骨頸部骨折（足の付け根の骨折）の手術を受けた後にリハビリテーションを行った患者さん 102 名を対象に、リハビリでの回復の効率や、自宅に帰れるかどうかに影響する要素を研究したものです。

今回の研究結果では、リハビリでの回復の効率には「認知機能(物忘れや判断力):HDS-R」が、自宅に帰れるかどうかには「フレイル(加齢による心身の弱り):Clinical Frailty Scale」が、それぞれ関係していることがわかりました。つまり、認知機能が保たれているほどリハビリでの回復がスムーズに進みやすく、入院した時点でフレイルが軽いほど自宅に帰りやすい、ということです。

実際に、対象とした 102 名のうち 81 名 (79.4%) の方がご自宅へ退院されており、その目安として「Clinical Frailty Scale で 5 点」というラインが、自宅退院を見分けるうえで役立つこともわかりました。入院した時点で患者さんの状態をていねいに評価し、退院の見通しを立てながらリハビリを進めていくことの大切さを、あらためて教えてくれる結果でした。

	単変量解析		多変量解析			
	オッズ比 (95% CI)	P 値	オッズ比 (95% CI)	P 値	AUC	カット オフ
年齢	0.88(0.79-0.96)	0.0027	0.98(0.85-1.13)	0.7508	0.71	88
Modified Charlson Comorbidity Index score	0.77(0.54-1.07)	0.1138			0.67	0
Clinical Frailty Scale	0.29(0.13-0.53)	<0.0001	0.42(0.15-0.98)	0.0448	0.77	5
入院時運動FIM	1.09(1.05-1.15)	<0.0001	1.03(0.96-1.11)	0.3718	0.8	37
入院時認知FIM	1.14(1.07-1.24)	<0.0001	1.05(0.92-1.20)	0.4934	0.78	26
手術の種類	1.18(0.35-3.91)	0.7812			0.51	
受傷から手術までの日数	0.95(0.88-0.99)	0.0269	0.93(0.82-1.01)	0.1562	0.65	4
HDS-R	1.16(1.07-1.27)	0.0002	1.08(0.95-1.23)	0.2244	0.76	12

[illegible]

認知症のある人々の虚弱のスコア化

資料の程度は、認知の程度に対応する。 直近の出来事そのものとは異なるが、出来事の内容を記憶していること、同じ言葉、同じ話を繰り返すこと、社会から引きこもることが軽度の認知症の一例の症状である。	保身は、自分のことではある。 高度の認知症では、勝手にして自分のことができない。 非常に高度の認知症では、しばしば誤嚥を繰り返す。舌が口からとどろきだす。	Clinical Frailty Scale © 2005-2020 Rochester, USA All rights reserved. For permission: www.geriatricmedicine.com Translated with permission to Japan by the Japan Geriatric Society, Japan.	Rachawak K et al. A global clinical measure of fitness and frailty in elderly people. <i>CMAJ</i> 2006; 173:898-906  DALHOUSIE UNIVERSITY
--	--	---	---

- ・ HDS-R：長谷川式認知症スケール改訂版（認知機能を測る検査）
- ・ Clinical Frailty Scale：フレイル（加齢による心身の弱り）の程度を測る検査

Yamanobe Spring Festival 2026 を開催しました

5月24日(日)心地よい五月晴れのもと、当施設にて地域貢献と交流を目的とした特別イベントを開催しました。当日は、近隣にお住まいの皆さまやご利用者様のご家族、関係事業所の方々など、たくさんの方々にご来場いただき、大盛況の一日となりました。

五感で楽しむ！魅力あふれる露店エリア

焼きそばやたこ焼き、クレープ、かき氷など、バラエティ豊かな美味しい食べ物がずらりと並び、会場は食欲をそそる香りに包まれました。また、わなげや射的などの遊びのコーナーも大人気で、楽しそうな笑顔や歓声があふれていました。

華やかなステージエリア

特設ステージではボランティアの皆さまによる演奏や踊りなどが披露されました。バイオリンの優雅な音色や和太鼓の力強いリズムが会場に響き渡り素晴らしい時間となりました。色鮮やかな衣装で舞うフラダンスの発表では、ゆったりとした南国の風を感じさせる優雅な踊りに、観客席から大きな拍手と歓声が沸き起こりました。また、開設30周年記念ステージとして、落語家の「森乃石松」様による落語も披露され、観客の皆様から笑い声があふれていました。

健康サポート！健康ブース

健康ブースでは骨密度測定や歩容解析、ベジチェックで自身の体の状態を楽しく確認できるコーナーを設置。「自分の体のことを知る良いきっかけになった」と多くの方にご好評をいただきました。

キラキラのビューティーブース

ヴェールルージュ美容専門学校学生さんによるビューティーブースではキラキラのネイルや華やかなヘアアレンジ等、いつもとは違ったおしゃれを体験していただきました。完成後は嬉しそうに鏡をのぞき込む様子がみられました。会場には「かわいい」「素敵」という声が飛び交い、心華やぐひとときとなりました。

施設が地域の一部となり、皆さまと手を取り合って楽しい時間を共有できたことは、私たち職員にとってもかけがえのない喜びです。ご利用者の皆さまも、いつも以上の笑顔を見せてくださいました。

ご来場いただきました地域の皆さま、ご利用者・ご家族の皆さまをはじめ、イベントを盛り上げてくださった関係事業所の皆さま、ボランティアの皆さまに、心より感謝申し上げます。今後も当施設は、地域とのつながりを大切にしながら、ご利用者様や地域の皆さまに笑顔で楽しんでいただけるような取り組みを続けてまいります。

〈イベント企画委員〉



このたび、リハビリ室に新たな運動機器を2台導入し、有酸素運動機器は合計4台となりました。これらの機器は、入所・通所をご利用の皆さまの身体機能や体力に合わせて使用しており、一人ひとりの状態や目標に応じたリハビリテーションに役立てています。

❖ ① 車椅子のまま使用できる全身運動マシン ❖

車椅子に座ったまま、腕と脚を同時に動かすことができる全身運動機器です。歩行に近いリズムで運動を行うことで、全身の筋力や持久力、心肺機能の維持・向上が期待できます。また、左右の手足を協調して動かすことで、身体全体のバランスや動きの改善にもつながります。立ち上がりや歩行が難しい方でも、安全に無理なく全身運動に取り組むことができるため、幅広い利用者さまに活用しています。



クロスステップ

❖ ② 自転車エルゴメーター ❖

自転車をこぐような動きで運動を行う有酸素運動機器です。主に下肢の筋力や持久力を高めるとともに、心肺機能の維持・向上や体力づくり、運動不足の解消に効果が期待できます。ペダルの負荷は利用者さまの体力に合わせて調整でき、膝や股関節への負担が少ないため、安心して継続的に運動を行うことができます。



リカンベントバイク

今回導入した2台を既存の機器と組み合わせることで、より多くの利用者さまに適した運動プログラムの提供が可能となりました。今後も、安全で効果的なリハビリテーションを通して、身体機能の維持・向上や健康づくりを支援してまいります。

〈リハビリテーション課〉



プレスステップ



リカンベントバイク

地域貢献セミナー

「ランチョンセミナー」を開催しました

6月17日、地域の病院や施設、居宅介護支援事業所、介護保険事業所の皆さまをお招きし、「食」をテーマとした地域貢献セミナーをランチョンセミナー形式で開催しました。

当日は、参加者の皆さまに実際に当施設で提供している食事を味わっていただきながら、管理栄養士・リハビリ職・介護職がそれぞれの専門分野から取り組みを紹介しました。管理栄養士からは、嚥下困難食や経口維持の取り組み、栄養管理、季節のイベント食などについて説明し、試食も交えながら理解を深めていただきました。リハビリ職からは、安全に食べるために大切な姿勢・環境・身体機能について説明し、言語聴覚士によるリハビリについて紹介しました。また、介護職からは、食べる喜びを支える口腔ケアや多職種での情報共有、利用者一人ひとりに合わせた個別支援についてお伝えしました。

食後には、手作りのチーズケーキも食べていただき、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

参加者の皆さまからは「嚥下食を試食出来て参考になった」「他職種連携が参考になった」「口腔ケアを自施設でも取り入れたい」といった声もいただき、実践につながる学びの場となりました。

今回のセミナーを通して、『口から食べる喜び』を支えるためには、多職種が連携し、それぞれの専門性を活かすことの大切さを改めて共有する機会となりました。今後も安心して相談・連携できる施設作りを目指し、地域に貢献できる取り組みを続けてまいります。

〈支援相談課〉



2026.5.13 まきむくセミナー開催

今回の「まきむくセミナー」はケアマネジャー様、医療・福祉関係者の方を対象に開催いたしました。まずリハビリ課課長よりまきむく草庵リハビリテーション部の取り組みをメインにお話させていただきました。



- ・短期集中リハビリテーション加算対象の方へのリハビリは週 5 回～ 7 回（2024 年～ 2025 年実績 7 回）
- ・通常 1 回 20 分のリハビリを最大 40 分に拡大
- ・在宅復帰前に家屋評価を行い、生活に対応できるリハビリを回数増大し実施
- ・在宅復帰後の生活をしっかりサポート（訪問リハビリ・ショートステイ・デイケア）
- ・自発的な動きを促し、可動域や筋力の改善を狙った作業リハビリを実施（習字や作品作り）
- ・安全に歩行できる方法・歩行ができない利用者様には車椅子にゴムチューブをつけて足の曲げ伸ばし等の自主トレーニングの実施
- ・安楽に過ごしていただくため・褥瘡予防のためにポジショニングをリハビリ課で考え、介護場面で実施
- ・「新しい靴を買いしたいけど、どんな靴がいいかわからない」という方にリハビリスタッフが最適な靴を選定。

など…



その他、介護士・看護師による口腔ケアや多彩なレクリエーション等、当施設の強みを紹介し、知っていただけたかと思います。

2 部はメナード川西結崎店様をお招きし、「UV ケアについて」お話いただきました。温暖化に伴う気温上昇や日照時間の増加で、私たちの肌や体は例年以上に強い紫外線に晒されています。UV ケアは単なる「日焼け対策」ではなく、皮膚の健康を守るための「大切なヘルスケア」です。正しい知識と対策を身につけて、年間を通じた紫外線予防を意識していきましょう。セミナーの後は利用者様にも好評のハンドマッサージを体験いただき、癒やされる和やかなイベントとなりました。今後もこのような交流の場を持ち、ケアマネジャー様、医療・福祉関係者の皆様と連携しながら、より良いケア・リハビリを目指してまいります。



「ナラ・シェイクアウト」

先日発生した熊本地震をはじめ、大規模な地震は予告なく突然私たちの生活を脅かします。まずはこのたびの地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様の安全と一日も早い復旧をお祈り申し上げます。私たちにとっても、こうした震災の教訓を身近な警鐘と受け止め、日頃から「命を守る行動」を体で覚えておくことが何より重要です。

7 月 9 日:10 時 30 分「訓練です！地震が発生しました！」の放送でスタートしました。

利用者様・職員が一斉に「まず低く（DROP!）」「頭を守り（COVER!）」「動かない（HOLD ON!）」の 3 つの安全行動を実践し、地震発生時の初動対応を確認しました。



●参加された皆様からの感想

- ・「防災意識は持っていたつもりだったが、いざ合図が鳴ると一瞬迷ってしまった。日頃の訓練が本当に大事だと痛感した。」
- ・「自宅でも机の下にすぐ潜り込めるスペースを確保しておこうと思った。」
- ・「備蓄品や防災グッズも準備はしているが、かなり前のこと。見直さないといけない。」



皆様、訓練をきっかけに防災意識を高めることができたかと思います。

日本は、地形、地質、気象などの自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火などによる災害が発生しやすい国土となっています。

この訓練を機会に当施設も非常時の対策やケガを防ぐための安全対策を見直す機会になりました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

まきむく草庵 アレコレ



・とても楽しみにしておられた「おんばら祭奉納花火大会」まきむく草庵からいい眺めです。



・人気の足湯コーナーで癒しの時間です。

地域の光と風



芳徳寺外観

芳徳寺

住職 橋本紹靖

芳徳寺は奈良市東部、「柳生（やぎゅう）」という地域にあります。1638（寛永 15）年に柳生但馬守宗矩（むねのり）が、亡父石舟斎宗厳（むねよし）を弔うために建立した臨済宗大徳寺派の寺です。以降、江戸時代末までこの地を治めた柳生家代々の菩提寺となりました。1992（平成 4）年に本堂は奈良市文化財に指定されて全面解体修理を行いました。境内裏手には同じく史跡指定を受けた柳生家の墓所があります。

本尊は釈迦如来です。開山は宗矩と親交のあった沢庵宗彭（たくあんそうほう）和尚で、第一世住持は宗矩の四男である列堂義仙（れつどうぎせん）和尚です。

柳生石舟斎は、新陰流流祖上泉秀綱（かみいずみひでつな）より新陰流を受け継ぎ、全国に名の知られる剣豪となりました。1594（文禄 3）年、後に江戸幕府を開く徳川家康は石舟斎を家臣に迎えようとしたが、石舟斎は高齢を理由に辞退し、代わりに息子の宗矩が家康の剣術指南となりました。これ以降柳生家は徳川将軍家の兵法指南役となります。柳生新陰流は禅の思想を取り入れることにより剣術だけではなく精神面の鍛練も重要

とし幕藩体制における武士の生き方を導くことにより江戸幕府による天下泰平の基礎を支えたと言えます。

芳徳寺は、創建後、1711（宝永 8）年の火事で建物を焼失してしまいます。しかし、安置されていた釈迦如来座像や宗矩像、沢庵像は難を免れました。その後 1714（正徳 4）年に再建されました。明治時代に入って柳生家の菩提寺ではなくなった後は、寺院堂宇の荒廃が進み廃寺寸前にまでなりました。しかし、1911（大正 10）年、台湾銀行頭取だった柳生一義氏（尾張柳生家末裔）の遺志による多額の寄進によって寺院の復興が始まりました。そして、1926（昭和元年）年、橋本定芳が住職に就き更に寺域の整備が進みました。

橋本定芳は青少年育成にも尽力しており、その功績から 1949（昭和 24）年、奈良県や GHQ の要請により芳徳寺境内や堂宇を使って精神薄弱児施設（当時）成美学寮（せいびがくりょう）を開設し、いわゆる知的障害のある児童の福祉支援を行うことになりました。その後、成美学寮は社会福祉法人となり、現在は、福祉制度改正に対応する形で、障害者支援



釈迦如来像



柳生宗矩画像

施設の運営を行っています。

また、昭和 40 年代、橋本定芳が中心となり、山岡荘八や長谷川伸などの文化人や政治家による物心両面にわたる支援を受け、柳生十兵衛が新陰流を教えていたという正木坂道場の再建をはじめ、剣聖の里「柳生」の復興が始まりました。その頃よりは落ち着きはしましたが、現在も、芳徳寺や成美学寮は地域住民の皆様を支えられて存在しております。



沢庵像



本堂



境内

耳鼻咽喉科のご案内

人間として生活していく上で必要不可欠な感覚器官・運動器官を有する領域を扱う専門科です。

耳・鼻・のど・頸部の疾患を対象に、内科的治療から外科的治療まで行います。風邪や中耳炎、難聴、花粉症、めまい、扁桃炎といった一般的な病気から、音声障害、嚥下障害といった頭頸部の機能障害、ホルモンを分泌する甲状腺や唾液腺である耳下腺、顎下腺、さらには頭頸部癌といった専門的な治療を必要とする病気まで幅広い疾患の診療を行っています。

耳鼻咽喉科の詳しい解説はホームページをご覧ください



耳鼻咽喉科 HP

編集後記

今年、NHK 大河ドラマで豊臣兄弟が放送されています。主人公は豊臣秀吉の弟秀長です。兄秀吉に誘われ、最後は大和郡山を拠点に110万石を領し、人望厚く、権大納言まで昇った大名になりました。私達の居住地から、それほど遠くなく、近鉄郡山駅から徒歩10分程度の大河郡山城ホールでは、大河ドラマ館が行われていました。また郡山城跡は桜の名所でも知られ、桜の咲くころには多くの人で賑わいます。奈良を散策する機会になりました。



■山の辺病院
■やまのべりハビリセンター
☎ 0744 (45) 1199
桜井市草川 60 番地

診療科目
内科・皮膚科・整形外科・外科系総合外来・外科・
脳神経外科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科

■介護老人保健施設(従来型)
■やまのべりハビリセンター
☎ 0744 (45) 5960
桜井市大豆越 104 の 1

◇入所 ◇短期入所療養介護
◇通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリテーション (デイケア)

■介護老人保健施設(ユニット型)
■まきむく草庵
☎ 0744 (45) 1502
奈良県桜井市草川 58 番地

◇入居 ◇短期入所療養介護
◇通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリテーション (デイケア)

■指定通所介護施設
■デイサービスやまのべ
☎ 0744 (45) 0280
桜井市大豆越 104 の 1

入浴・機能訓練・カルチャー教室・グルメ
イベント等各種実施中
無料体験もお気軽にどうぞ

■訪問看護ステーション
■アップル
☎ 0744 (45) 0604
桜井市大豆越 104 の 1

訪問看護師が健康管理や療養上の指導等、
必要な支援を行っています

■在宅介護支援センターやまのべ
☎ 0744 (45) 5962
桜井市大豆越 104 の 1

ケアマネジャー(介護支援専門員)が在宅
介護に関するご相談や介護サービスの調整
を行っています
お気軽にお問合せください

■児童発達支援・放課後等デイサービス
■発達・教育支援センター アミークス
☎ 0744 (46) 3730
桜井市辻 53 番地

営業時間: 火・金・土 9:00~17:00
水・木 11:00~18:45
※日・月・祝はお休みとなります
対象: 0~18 歳までの受給者証をお持ちの方

■桜井市地域包括支援センター
■ひかり
☎ 0744 (45) 3651
桜井市大豆越 104 の 1

住み慣れた地域で安心して暮らせるよう
地域住民に対し、保健・福祉・介護等の支援
を行っています

近鉄桜井駅

YAMANOBE HP
やまのべりハビリセンター

送迎車時刻表

桜井駅(北口) → 山の辺病院	山の辺病院 → 桜井駅(北口)
8:00	8:23
8:05	8:28
9:05	9:10
9:40	10:03
10:15	10:38
10:45	11:08
11:25	11:48
12:30	12:53
15:55	16:13
	20:10
	20:33



15人乗りです。
運転手を除いて
定員は14人です。



7人乗りです。
運転手を除いて
定員は6人です。

職員送迎専用です。

職員送迎専用です。同乗できます。

※片道20分程度を見込んでおりますが、
遅れる場合がございます。

※その他については、病院事務所にお
問い合わせ下さい。

※但し、日曜・祝日/年末・年始は
運行していません。

桜井駅北口待合所



無料送迎車運行中!

医療法人社団岡田会 山の辺病院 外来診療一覧表 (2026年9月1日現在)

		月	火	水	木	金	土	日
内科一般	一診	田原	福居	若月	築瀬	中本	担当医	—
	二診	中本	浪崎	近森	田原	若月	田原	—
内科 専門外来		糖尿病 田原	—	糖尿病 若月	—	—	—	—
皮膚科		—	—	—	樋口	—	—	—
整形外科	(1診) 中西	岡田憲	岡橋	山藤	磯本	(第1-3日) 中西 (第2日) 担当医 (第4日) 本田	—	—
	(2診) 中川							
整形外科 専門外来	手の外科 中西	—	—	膝関節 岡橋	—	足・足関節 磯本	(第1-3日) 手の外科 中西	—
外科系総合外来		—	—	—	—	—	岡田	—
外科		—	—	勝井	—	國重	—	—
脳神経外科		—	山田修	—	—	—	—	—
耳鼻咽喉科		西村	—	上村	岡田拓	—	—	—
リハビリ		勝井	中本	岡田	田原	國重/石田*	中川	—
午後診	内科一般	田原	浪崎	田原	田原	中本	—	—
	処置外来	—	勝井	—	勝井	國重	—	—

診療時間 午前診 9:00~12:00 午後診 (内科一般) (月~金) 17:00~18:00
(処置外来) (火・木・金) 17:00~18:00

石田* リハビリ 要予約

※耳鼻咽喉科 第3木は休診